

開催の概要

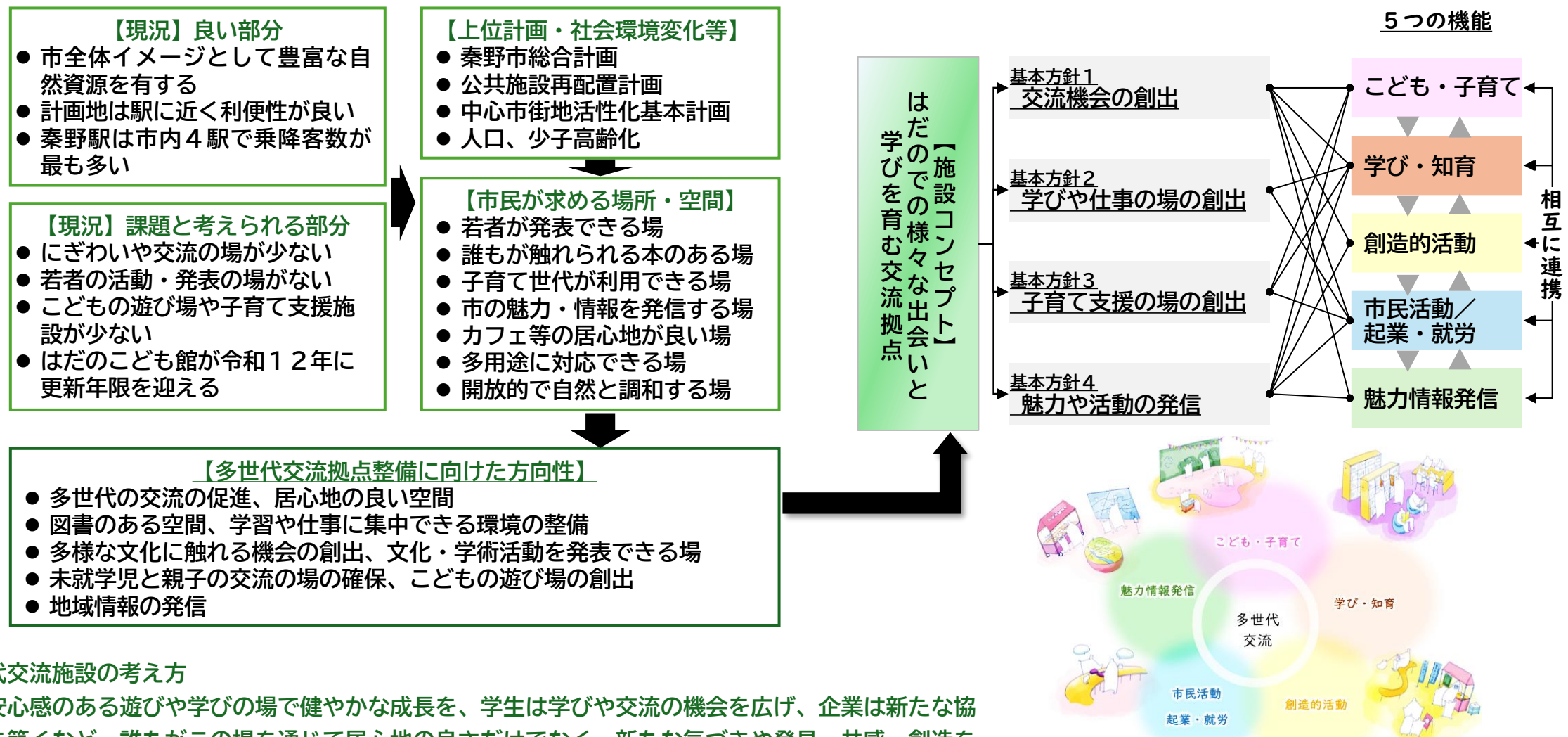
5月30日(土)、はだのこども館にて秦野市多世代交流施設に関する市民懇談会を開催し、高校生から高齢者まで多くの世代の方にご参加いただきました。

当日は、3月に策定した「秦野市多世代交流施設基本構想」に掲げている5つの機能やこれまでの意見などを踏まえ、多世代交流施設の各フロアのイメージや利用方法について、グループごとに意見交換をし、最後に各グループ発表を行いました。

これまでの主な取り組みの振り返り

- 令和6年 8月25日 はだのミライラボ 2024 夏（パネル式アンケート）
- 令和6年 9月28日～第76回秦野たばこ祭（パネル式アンケート・AI画家体験会）
- 令和6年10月 4日～多世代交流施設市民検討会（自治会代表者・若者代表者など）
- 令和7年 8月24日 市民ワークショップ（機能・用途）
- 令和7年10月18日 市民ワークショップ（利用方法）
- 令和7年11月22日 秦野市多世代交流施設整備に係る市民説明会
- 令和8年 2月21日 秦野市多世代交流施設整備基本構想説明会
- 同日 本を通じた対話・交流ワークショップ（交流体験含む）

当日はグループごとの意見交換の前に、秦野駅北口周辺の現状をはじめ、多世代交流拠点の方向性やコンセプト、基本方針、5つの機能との関係性について、参加者の皆さんと共通認識をもちました。



※多世代交流施設の考え方

親子は安心感のある遊びや学びの場で健やかな成長を、学生は学びや交流の機会を広げ、企業は新たな協力関係を築くなど、誰もがこの場を通じて居心地の良さだけでなく、新たな気づきや発見、共感、創造を通じた価値を見出します。

そのうえで、ハローワークを想定している3階を除いた各フロアのイメージに対する、主な意見は次のとおりでした。

1階 ウェルカムエリア(仮称) 開かれた雰囲気づくりや気軽に入りやすいフロアとして、こどものプレイルームや図書のある空間などをイメージ



- こどもも大人も楽しめるプレイルームがいい
- ネット遊具など他にはない遊具があるといい
- はだのこども館の多目的室と同等の広さのプレイルームがあるといい
- プレイルームが出入り口付近にあると、こどもが出入口から外に出てしまい危ないので、施設の奥側に配置するといい
- 図書館のような空間ではなく、ブックカフェのような空間がいい
- ふらっと立ち寄れて、ゆっくりくつろげる場所がいい
- 道路沿いから見えるような、立ち読みスペースがあるといい
- 飲食ができる空間や、年齢や時代に合った書籍があるといい
- カフェのような空間だけでなく、静かに読書を楽しむ空間もあるといい

2階 クリエイトエリア(仮称) 様々な交流などをして、多くの機会を創造できるフロアとして、中小規模な会議室や音楽スタジオ、コワーキングルームなどがある空間をイメージ



- これまでの公共施設よりも簡単な予約方法にしてほしい
- コワーキングルームやレンタルルームの利用料は、市内で起業する予定の人に対して優遇してもいい
- 音楽スタジオは、LUNA SEAにゆかりのある場所にしたい
- 学生向けの学習ルームを設けた方がいい
- 4階にも会議室があるので、2階の会議室は必要ない
- 1階の図書のある空間と異なる空間として、静かに過ごせる空間を設けたい
- コンサートや発表会、プレゼン大会ができるように、大きな空間があるといい
- 卓球台やボードゲームが充実していると、こどもや若者が遊びに来てもらえる
- 家族や友だち以外に相談できる場所を設けてもいい

4階 ワーキングエリア(仮称) 多くの人が話し合えるフロアとして、大規模な会議室や屋上がある空間をイメージ



- 4階の会議室を間仕切りなどで分けて、小さくも大きくも使えるようにしたい
- 屋上をテラスにして、緑や少し屋根を設けて、都会的な空間にして、花火大会では開放する
- 定期的に青空教室のようなイベントを実施したい
- 屋上には丘の広場を設けたり、芝生を敷くなど、斬新な空間にする
- 都会にはない、ほっとする空間を屋上に設ける
- 屋上で、富士山や丹沢山麓が見えるような空間がほしい
- 夏季は盆踊りなどができるように、広い空間にしてほしい
- 秦野駅北口周辺には公園がないので、屋上はこどもも大人も楽しめる空間がいい
- 屋上を設けるのではなく、2階以上にベランダのようなテラスを設けた方がいい

施設全体などへの意見

- 施設運営をサポートする市民は、施設利用料が減額される仕組みにしたら、地域と行政が一体となった施設運営に繋がると思う
- 四季を感じられるような空間にしてほしい
- 他の公共施設と連携した便利な施設にしてほしい
- 施設や県道の愛称をつけると、市民も愛着が湧く
- 施設利用は、なるべく自由度を高めてほしい
- 建物の形は画一的なものではなく、斬新なデザイン性を持たせたい
- ちょい飲みイベントなどの地域イベントとのコラボイベントができるといい
- JAはだの本町支所の施設が隣にあるので、施設の使い方を考えてほしい
- 市民だけでなく登山者などの来街者が立ち寄れる施設にしてほしい
- 施設予約について、なるべく簡単で難しくないようにしてほしい
- 施設利用の負担がないように、靴の脱ぎ履きがないようにしてほしい
- 開放された空間のために、なるべく扉を設けないようにして、会議室などはガラス張りにして、必要に応じてカーテンなどで目隠しできるといい

次回は、7月中に市民ガイダンスとして説明会を開催する予定です。
詳細は、後日に秦野市公式ホームページやSNS、はだののミライラボのInstagramで情報発信しますので、ご覧ください。



秦野市HP



秦野市LINE



@HADANONOMIRAI_KONWAKAI

本レポートに関するお問い合わせ先
秦野市役所環境産業部駅周辺にぎわい創造担当
電話 0463-82-9615
メール h-eki@city.hadano.kanagawa.jp